令和７年度　事業報告書
自　令和 ７年４月 １日
至　令和 ８年３月 31 日

概況

本年度の我が国経済は、堅調な設備投資や賃上げによる所得改善が寄与し、穏やかな回復基調を継続している一方、米国の通商政策や中東情勢の悪化等の影響による景気の下押しリスクが依然と残っております。
その中にあって、当連合会は大阪・関西万博にあわせて大阪における総会・全国大会の開催、そして理事会、地区委員会等の会議行事を予定通り開催し、前期と同様に地区交流会を開催して経営層のみならず若手社員間の交流を図ってきました。
市場の景気上昇に伴い業界需要も増加傾向にありますが、資材価格高騰によるコスト増と価格競争の激化、人手不足問題、残業規制順守への対応等取り組まなければならない課題も現出しております。

令和７年度　主要事業・実績

1. ディスプレイを通じて生活文化の向上及び国土景観の発揚に寄与する事業

① ディスプレイに関する表彰

経済産業省の後援を得て「ディスプレイ産業賞」の顕彰事業を実施し、
応募総数 140 点より厳正な審査により大賞・経済産業大臣賞 1 点、優秀賞・経済産業省大臣官房商務・サービス審議官賞 6 点、奨励賞・日本ディスプレイ業団体連合会賞 19 点、入選 23 点、ＮＤＦ特別賞・日本ディスプレイ業団体連合会賞 3 点を選出しました。
10 月 30 日に東武ホテルレバント東京にて贈賞式を開催し、入賞作品を収めた「年鑑ディスプレイ産業賞 2025」を 1 月に発刊して全国構成員に配布いたしました。
また、今後の「ディスプレイ産業賞」について応募方法の変更と新たな賞（学生賞）を設けることの検討を進めました。

② ディスプレイに関する調査研究及び技術の高度化

・安全教育研修による安全基準の教育と研修
「職長・安全衛生責任者講習」を 6 月 19、20 日の両日及び 7 月 28、29 日の両日に当連合会会議室にて受講者計 33 名で実施いたしました。
また、「職長・安全衛生責任者能力向上教育」を 10 月 10 日に広島にて受講者 16 名で実施、3 月 26 日に当連合会会議室にて受講者〇名で実施いたしました。
・特別研修
外国人労働者の採用に関する「警視庁研修」を 5 月 27 日に当連合会会議室にて受講者 27 名で実施いたしました。

③ MICE のサステナブル運営推進

大阪・関西万博会場内にある「EXPO サロン」にて MICE のサステナブルに知見がある専門家、海外パビリオン関係者によるセミナーが開催されて、当連合会 63 名が参加いたしました。

④MICE についてのイベント協力

・Japan MICE EXPO 2025 産学連携企画「MICE NEXT GENERATION」に関する首都圏学生誘致プランについて、当連合会で協賛いたしました。

・JAPAN MICE Challenge 2026（横浜、沖縄）について、当連合会で協賛いたしました。

2. ディスプレイを通じて地域の活性化に寄与する事業

①地域活性化促進事業

各地域で注目されたプロジェクトをクローズアップして選定する「地域振興賞」を募集、ＰＲしましたが、応募はありませんでした。また、今後の「地域振興賞」については、新たな選出方法の検討を進めました。

②ディスプレイセミナーは今年度 6 月 27 日に大分にて開催いたしました。また来年度６月に名古屋開催を予定して準備を進めました。

3. ディスプレイを通じた産業の国際化に寄与する事業

①海外諸団体との交流及び事業への協力

11 月 5～7 日にインドネシアにて AFECA 総会に出席しました。

4. 図書等の販売斡旋及び保険制度の斡旋等の事業

①「年鑑ディスプレイ産業賞」の販売

「年鑑日本の空間デザイン」の斡旋推進

「賠償責任保険」、「生命共済」の斡旋を例年通り実施いたしました。

5. 組織強化に資する事業

①会員相互の交流

総会、全国大会、地区交流会をはじめ主な会議や行事を予定通り開催いたしました。

②広報事業

・機関誌「ND」を年間 4 回発刊、配布いたしました。

・ホームページにおいてタイムリーな情報発信に努め各行事や会議開催の速やかな掲載を実行いたしました。

・各種報道機関からの取材に対応し、出稿及び情報提供に努めました。

・トピックス等の情報を発信するための LINE 公式アカウントのほかに「ディスプレイ産業賞」や「ディスプレイセミナー」について、インスタグラムとＸで発信いたしました。

③会員・構成員の増強

賛助会員は1社減少、準会員は1社増加しましたが正会員の構成員数は4社増加いたしました。

令和8年3月現在、会員31団体、構成員数は751社となりました。

6. その他

①外部団体との交流

・サイン4団体（(一社）日本屋外広告業団体連合会、(公社）日本サイン協会、(公社）日本サインデザイン協会）との連絡会を12月11日に開催して近況報告、情報交換を行いました。

・(一社）日本イベント産業振興協会等その他関連団体の賀詞交歓会、総会、贈賞式に出席いたしました。

・(公社）商業施設技術団体連合会が主催する「主張するみせ 学生デザインコンペ」に当連合会で協賛して表彰式に出席いたしました。

以上

令和8年度　事業計画

自　令和8年4月　1日
至　令和9年3月31日

基本方針

堅調な設備投資や賃上げによる所得改善が寄与していることにより、景気は緩やかな回復基調を継続しております。一方で、原材料・エネルギー価格の高騰等による物価上昇に加えて、米国の通商政策や中東情勢の悪化等を要因とする世界経済の減速懸念があることにより、今後の先行きは不透明な状況にあるといえます。

当ディスプレイ業界の事業環境においても資材等の価格高騰によるコスト増、人手不足問題、残業規制順守等の課題があるものの、業界の需要は増加しており、業界内における相互連携を強化することにより、よりよい社会の実現に空間創造を通して貢献してまいります。

重点施策

1. ディスプレイを通じて生活文化の向上及び国土景観の発揚に寄与する事業

ディスプレイ産業賞に関する審査と表彰

ディスプレイ振興に関するセミナー・シンポジウムの開催

ディスプレイの教育研修及び特別講習の開催

新たな事業拡大への探求

2. ディスプレイを通じて地域の活性化に寄与する事業
地域振興賞の検討
セミナー・シンポジウムの地方開催
教育研修の地方開催

3. ディスプレイを通じた産業の国際化に寄与する事業
海外諸団体との交流及び事業への協力

4. 図書等の販売斡旋及び保険制度の斡旋等の事業
専門図書の発刊、斡旋
保険の斡旋

5. 組織強化に資する事業
会員相互の交流
・全国大会の実施
・全国青年交流会の実施
・地区委員会の実施
・地区交流会の実施
・会員・構成員及び協賛会員の増強
広報事業
・機関誌「ND」の刊行
・ホームページでの情報発信
・LINE 公式アカウント、インスタグラム、Xによる情報発信

6. その他
・(一社) 日本イベント産業振興協会、(一社) 日本空間デザイン協会、(一社) 日本商環境デザイン協会、(公社) 商業施設技術団体連合会、(一社) 日本屋外広告業団体連合会、(公社) 日本サイン協会、(公社) 日本サインデザイン協会等の会議・行事への参加と交流

以上